

明日の大地

北海道新篠津高等養護学校

学校だより

平成 29 年度第 2 号 7 月 24 日発行

Tel 0126-58-3280

HP <http://www.shinshinotsukoutouyogo.hokkaido-c.ed.jp/>

各学年より

「社会見学～1年～」

5月25日(木)、1学年の社会見学がありました。入学してから初めての集団行動となりましたが、公共の場でのルールやマナーを守って有意義な学習を行うことができました。始めに、学年全体でサッポロさ



とらんど内の「サツラクミルクの郷」を見学し、牧場で絞られた生乳が工場に運ばれてミルクになる工程や、おいしいミルクを作るための工夫などについて学びました。毎日口にする身近な食品ということもあり、みんな興味をもって見学していました。

1 学年 麻 畑 佳代子



その後札幌駅で解散し、学級別に計画に沿って研修を進めました。事前の学習の中で交通機関の利用や必要経費などについて調べ、各学科の特性や生徒の興味関心に基づいて、青少年科学館や地下鉄の車両基地、コーヒー店などで研修しました。限られた時間の中ではありましたが、仲間と声を掛け合ったり相談したりすることで、学級としてのまとまりもできました。今後の学校生活につながることを期待しています。

「宿泊研修～2年～」

6月21日から、2泊3日の行程で宿泊研修に行きました。

1日目、学級別研修では、事前に昼食場所や見学先を話し合い、目的を持って調べ学習を重ねました。当日、慣れない土地では行先にたどり着くまでに期待や不安もあり、無事に終えた達成感はある学習となりました。夜はネイパル深川で「肝試し」。レク係の生徒のアイデアが見事で、驚きの声が聞こえる楽しい時間となりました。



2日目は野外活動、午前中はあいにくの雨、体育館で「フロアカーリング」を行いました。午後から、屋根のついた炊事場でご飯とカレーを作りました。火加減が難しい薪を焚いての調理でしたが、どのグループも上手に炊きあげ、見事完食。夜のキャンプファイヤーで仲間と研修を振り返り、自然の中で貴重な体験ができました。3日目は手こぎボートとカヌー体験。ボートは、こぎ手の息を合わせることが難しく思いどおり進めませんでした。

2 学年 野 呂 善 信



3日間の研修で生徒それぞれ充実感ある表情が見られました。この経験を今後の学習、生活の中で生かしていきたいと思ひます。

「見学旅行に行ってきました！～3年～」

3学年 三田村 祐 二

5月16日から19日までの3泊4日で関西方面に見学旅行に行ってきました。

初めて飛行機に乗った生徒・・・奈良の大仏にビックリし、京都の歴史的な町並みにビックリし、大阪の人の多さにビックリし・・・という、ビックリと発見がてんこ盛りのたくさんの経験を積んだ旅行となりました。

今回、3学年では見学旅行にあたっての合い言葉を MHS としました。「ルールやマナーを『守る』のM」、「経験を『広げる』のH」、「仲間と『ささえ合う』のS」です。



ほとんどの生徒が寄宿舎での集団生活を体験しており、気心が知れている仲とは言え、やはり旅行という非日常空間の中で、様々な交流を深めることができたと思います。

飛行機の時間の関係から、一日目と四日目は移動で終わってしまった感もありましたが、二日目の学級自主研修、三日目のグループ自主研修は、それぞれ企画の段階から生徒も参加して「どこに行くか」「何をするか」などを話し合いながら計画を煮詰めていきました。特に三日目は、寄り道をしたグループもありましたが、全てのグループが USJ (ユニバーサルスタジオジャパン) に行くことに決め、思い思いにアトラクションを楽しみました。



今回は旅行という題材を通しての学習でした。「一定の時間までに、公共交通機関で目的地にたどり着き、用件をこなして一定の時間までに帰宅する・・・」という「生きる力」につながる学びが(部分的ではありますが)できました。今回の経験や学びが種となり、今後の生徒達の人生の中で、美しい花を咲かせ、豊かな実りにつながっていくことを願っています。

「第8回 体育大会を終えて」

文化体育部 体育大会担当 須藤 栄子

6月9日(金)前日までの雨が嘘のような快晴の中、第8回体育大会が開催されました。

今年は新競技も追加され、生徒一人一人が表彰台や学年優勝を目指し、精一杯の力を発揮する姿が見られました。3年生は圧巻の強さで見事3連覇を果たし、体育大会の歴史に名を残すことになりました。この偉業を目の当たりにした1,2年生には新たなる目標が見えてきたことと思います。次年度も乞うご期待です。

来賓の方々をはじめ、多くの保護者の皆様にお越しくございましたこと、また、日頃の学習の成果をご覧いただきましてありがとうございます。秋には、学校最大の行事「新高祭」がございます。現場実習を終え、一回り成長した生徒たちが皆様たちをお出迎えいたします。是非、お越しく下さい。



「新高オープンスクール2017」

教務部長：西村宏志

今年度も5月18日（木）と6月22日（木）の2回において「新高オープンスクール」を実施しました。本校に入学を考えている中学3年生（特別支援学校中学部3年生）に対し、作業学習体験を通して学習活動への理解を深めてもらうことや、保護者及び中学校などの先生に対して学校の概要を説明する場としており、今年度で5年目となります。

1年生は、他者を意識し相手に思いを伝えることなど、コミュニケーション能力の向上などをねらいとし、受付・誘導及び接遇などの仕事を担当しました。

また2、3年生は、ふだん自らが行っている作業活動について説明をしながら、中学生の作業学習体験を受け入れてくれました。

高等養護学校での作業体験に充実感を感じた様子の中学生、また自分たちの役割を果たし満足感や達成感を表している本校生徒、共に有意義な一日を過ごせたようです。

～学校評議員会～

教頭 松岡達也

学校評議員会は、本校が地域に根ざし、より発展充実していくことを目的とし、年間3回行われています。評議員の方々には、伊藤様（北翔大学教授）、今田様（㈲今田自動車商会代表取締役）、上田様（北海道自閉症協会会長）、高柳様（新篠津福祉会ふれあいの苑施設長）、の4名と新たに小出所様（本校PTA会長）にお願いをしています。6月14日に行われた第1回学校評議員会では、授業参観と学校経営の方針などの説明、意見交換を行いました。評議員の方々からは、「障がいの重たい生徒にも視覚的な理解ができるような対応」「生徒の実態を把握し、保護者が役割を果たすべきところは、保護者に任せる学校としての仕組みの確立が必要」など今後に向けて有意義な御示唆をいただきました。次回の評議員会には、寄宿舎見学、生徒との懇談などを予定しています。

～グラウンド整備～

おやじの会 担当 坂口浩隆

おやじの会では体育大会に向けて生徒が思い切って活動する手助けになればと考え、毎年直前の日曜日に「グラウンド整備」を実施しています。今年度は10家族、19名の参加希望があり学校から大きな期待を寄せられていました。

残念ながら風邪による臨時休校のため中止となりましたが、次年度以降のご協力をお願いいたします。

～卒業支援について～

進路指導部 佐藤 治 人

日本理化学工業株式会社大山泰弘会長は、「人の究極の幸せ」は、「愛されること」「人にほめられること」「人の役に立つこと」「人に必要とされること」周りから大事に大事にされるのが幸せではなく働いて役に立てばほめられる・・・それが幸せであると話されていました。

「卒業」は、学校生活の出口であり社会生活の入り口です。在学中に働いて生活する力をつけ、みんな働いて幸せになってほしいと願っています。卒業支援は、その働く生活の入り口をお手伝いすることが目的です。「進路・卒業支援振興会」の会費をもとにそのお手伝いを行っています。

年3回の招集支援は、レクリエーションの機会を設け、悩み相談や、生活の状態を把握しています。巡回支援は夏・冬休み中に事業所を訪問し、卒業生の現状把握を行っています。必要な場合は、時期を問わずいつでも訪問支援を行っています。文書支援は、定期的にお便りを送り、福祉制度や地域の情報提供、学校・同窓会行事の案内などを行っています。また、電話や来校による相談も随時行っています。これからも、卒業生一人一人が幸せに働く生活を続けていけるよう、全職員が協力して支援を行っていきます。

～図書室より～

情報教育部：松本 紀子

本校の図書室には約3,600冊の蔵書があり、委員会の生徒が中心となって火曜日に返却、水曜日に貸し出しを行っています。水曜日の貸し出し日には多くの生徒が本を借りに来ます。特に『名探偵コナン』シリーズやディズニー、ジブリの絵本が人気で、なかには『月と蟹』や『太陽の子』といった文学作品を借りていく生徒もいます。

明日から夏休みです。夏休み前の貸し出しで、たくさんの本を借りた人もいます。自分の興味のあるものから本に触れ、ぜひ有意義な夏休みにして欲しいと思います。

また、図書委員会では新着図書の紹介ポスターを掲示したり、図書室の本の整理などをしたりして、よりよい図書室になるよう活動しています。保護者の皆様におかれましては、ご来校の際は是非お立ち寄りください。

こ ぞうだんしえん 子ども相談支援センター

ぞうだんまどぐち 相談窓口のお知らせ

- いじめられている・・・
 - 学校に行きたいのに行けない・・・
 - 誰かに聞いてほしい・・・
- そんな時に、相談できる窓口があります。

●電話相談

0120-3882-56 (無料、毎日24時間対応)

●メール相談

doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp

※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

編集後記

快晴の中、実施された体育大会、遠足、プール学習と夏らしい明るい天気にも恵まれました。

明日からの長期休業も、暑さに負けずに元気で有意義に過ごしてもらえることを願っています。